（公財）建築技術教育普及センター業務部業務第一課行き
ＦＡＸ番号：０３－６２６１－３３２１

一級建築士試験　受験申込「実務経歴書」（提出用）

受験番号（不明な場合は未記入）：　　－

氏　名		生年月日	平成・昭和　　年　　月　　日	電話番号（携帯電話等）	

実務経歴書

建築に関する実務経歴について、学歴による場合は当該学校を卒業してからの経歴、二級建築士による場合は免許登録を行ってからの経歴、建築設備士による場合は合格（修了）してからの経歴を、年代順に記入して下さい。

勤務先（部課名まで）	所在地（番地まで）	地位職名	在職期間 年月～年月	期間ⓐ	建築実務内容（できるだけ具体的に記入して下さい。）	建築実務の割合ⓑ	実務期間（ⓐ×ⓑ）
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
			・ ～ ・	年 か月		%	年 か月
実　務　期　間　の　合　計							年 か月

一級建築士試験　受験申込書「実務経歴書」の注意事項

＜実務経歴書の記入に係る注意＞

1. **建築士法の改正により、平成 20 年 11 月 27 日以前と平成 20 年 11 月 28 日以降で建築実務の取扱いが異なります。平成 20 年 11 月 28 日以降に建築実務として認められない内容は「実務経歴書」において起算しないよう注意**して下さい。
2. **実務経歴は、勤務先（職場）ごとに記入**して下さい。記入欄が足りない場合は、様式をコピーし記入のうえ貼付欄に貼り付けて下さい。
3. 「在職期間」は、和暦（元号）で記入して下さい。（例：令和かR、平成かH、昭和かS）
4. **「建築実務の内容」は具体的に記入**して下さい。在職期間に対し建築実務以外の業務を行った場合には、「在職期間の年月」 ⓐに対し建築実務を行った割合ⓑ をパーセントで併記し、「在職期間の年月」にその割合を乗じた年月（ⓐ×ⓑ）を「建築実務の年月」欄に記入して下さい。なお、在職中であっても長期療養等の理由で実際に建築実務を行っていない期間がある場合は算入できません。

「建築実務の内容」の記入例	○○駅前事務所ビル新築工事（RC 造 10 階建）の設計補助、○○商業ビル新築工事（S造 4 階建）の建築一式工事の施工管理、○○小学校体育館ほか3棟の耐震診断、○○邸（木造2階建）新築工事の設計補助、○○店舗増築工事（1階店舗部分等約 50 ㎡の工事監理補助）、○○マンション（RC 造 7 階建）の設備工事の設計補助

5. **大学院、高等専門学校専攻科の期間を建築実務とする場合**は、修了した学校名、在学期間を記入し、建築実務の内容欄については、平成 20 年以前の入学者は研究内容（テーマ名）等を、また平成 21 年以降の入学者の場合は「インターンシップ関連科目の修得」と記入して下さい。
6. 建築に関する実務経歴について、学歴による場合は当該学校を卒業してからの経歴、二級建築士による場合は免許登録を行ってからの経歴（4年以上）、建築設備士による場合は合格（修了）してからの経歴（4年以上）を、勤務先（職場）ごとに分けて年代順に記入して下さい。
7. 制度改正に伴い、合格後の免許登録時には改めて実務経歴書と実務経歴証明書の提出が必要となります。